

暑さ寒さも彼岸までと言いますが、まだお彼岸ではないためか暑い日が続きますね。台風も立て続けに発生していますし、落ち着きません。

さて、4月に始まった研修も折り返しにきています。1年目の研修医の先生たちもいくつかの研修科を修了できました。救急外来でも落ち着いて対処できるようになってきています。

「形成外科を考えている」と言っていた某先生の縫合手技も、手際よく進めていることに感心しました。「好きこそものの上手なれ」なのでしょうね。

2年目の研修医の先生ともなれば、ほとんどの先生が進路を決めていて、研修先もそれに合わせて変更したり、逆に研修期間だからこそ他科の研修で引き出しを増やす努力をしたり、それぞれにより良い研修を目指しています。それは指導側から与えるものではありません。私たちにできるのはその環境を作ることくらいで、あとは若い先生たちが自力で獲得するほかないでしょう。

というわけで、研修希望が少ない検査科の病理研修に今年も1人研修変更をしてくれました。こういった基礎的な学問を専門家から教えることは、今後きっと役立つと思っています。

私も研修医の時に血液内科で骨髄標本を作っていたことが、その後のネズミの実験で役立ちました。本業は麻酔科だったので、実験だけでしたけどね。



なんの標本を見ていたのか、聞くのを忘れました。
しっかり勉強してね。肩こり注意です。